

**\* ガラス乾板に転写された写真を発見**

図書室から図書所蔵としては不適當なものがあるといろいろなものが届く。一昨日届いたものの中に、写真乾板(シートフィルム)の箱が10箱あった。この中に、「天文台 ネガ・ポジ在中」と書かれた六つ切りの SHEET FIKM の箱があった。六つ切りと言われてもピンとくる人は少ないだろう。箱には乾板の大きさとして 16.3x21.3cmJS (61/2x81/2) OPEN ONLY IN PHOTOGRAPHIC DARKROOM と書かれている。さらに HIGH SPEED PANCHROMATIC NON-KALATION と続いている。この中にガラス乾板に焼かれた東京天文台三鷹キャンパスの航空写真が3枚(1枚は失敗)、堂平観測所で撮影されたオリオン大星雲 M42 の写真の4枚があった。航空写真(写真1)には昭和41年(1966年)6月17日ヘリコプターより撮影(天文台写真部)とカバーのトレーシングペーパーに書かれている。



写真1 昭和41年6月17日撮影の三鷹キャンパスの航空写真

昭和41年の写真であるから、まだ南研究棟もない時代である。南研究棟の位置には、本館(一)と呼ばれた長い平屋の建物が建っている。自動光電子午環の場所にはノイズと呼ばれた電波のグループの施設があり、その中に競輪場と呼ばれた24mの固定式電波望遠鏡

も写っている。また左下には太陽グループの施設（モノクロ、オバケ、3号館）、ベーカー  
ナンシュミット望遠鏡の建屋、ブラッシャー天体写真儀のドーム、30cm 望遠鏡のドームも  
写っている。しかし全体をスキャン出来ないので、写真 1 には入っていない施設もある。  
すでに 45 年前の写真である。

次の写真は「オリオン座 M42 ガス状星雲、堂平観測所 50cm 鏡にて」と書かれた紙片が入  
っている写真（写真 2）だと思われる。



写真 2 堂平観測所 50cm シュミット望遠鏡で撮られた M42

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただ  
ければ幸いです。中桐のメールアドレスは、[arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp](mailto:arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp)